

サンパウロ大学への協定派遣（交換留学） 月例報告書（10月分）

ブラジルでの生活が始まって、あっという間に3ヶ月が経ちました。今はまだ春で、肌寒い日や雨の日が続いています。早く本格的に暖かくなって、海に行ける季節になってほしいです。気づけば帰国まであと2ヶ月となり、残りの時間をできるだけ充実させたいという思いと、少し焦る気持ちもあります。

10月はとにかく課題に追われた1ヶ月でした。基本的に毎週2つの授業で、次の授業までに読まなければならない論文が指定されます。それだけでも大変なのですが、今月はプレゼンテーションの準備や特別課題もあり、授業内容も難しく、復習にも時間がかかりました。留学生は通常、USPの正規学生より少ない授業数を履修しているのですが、それでもこれだけ大変だと感じるので、ブラジルの学生たちが普段どれだけ勉強や課題に取り組んでいるのかを考えると本当にすごいなと思います。また、ブラジルでは多くの学生が会社やインターンで働きながら大学や大学院に通っており、日本の学生アルバイトとは少し違う感覚があります。同じ年齢のはずなのに、こちらの学生の方が責任感が強く、将来についてもしっかりと考えていて、自分よりずっと大人のように感じます。そんな環境の中で学ぶことで、自分を見つめ直すきっかけにもなっています

10月は、人と交流する機会も多い月でした。日本人留学生や日本語を学ぶUSPの学生たちと一緒にサッカーやバスケットボールをしたり、休日に映画鑑賞会をしたり、パーティーに参加したりしました。ブラジル人は本当に人と話すことが大好きで、どこでも気軽に話しかけてくれます。私はもともと人見知りな性格で、あまり社交的な方ではないのですが、少しずつ自分から人と関わることができるようにになり、成長を感じています。ときどき疲れてしまうこともありますが、これからも積極的に交流して、もっと思い出を増やしていきたいです。

この1ヶ月は、個人的な事情で精神的にきつい時期もありました。自分のアイデンティティや将来について考えることが多く、楽しいことばかりではありませんでしたが、これも成長の一部だと思っています。健康に気をつけながら、来月の期末テストを乗り越えたいです。

